

## 【口明方小学校の沿革】

### ○明治の頃

- 6・9 市島村（太田内）に市島義校創設
- 12・9 市島義校を市島学校と改称  
学齢児童 約 150 人  
就学児童 約 100 人  
日々出席 約 30 人
- 41・8 市島・初納・有穂の三尋常小学校を廃止  
市島を口明方尋常小学校と改め、初納・有穂を分校とする。
- 43・3 口明方尋常小学校新校舎竣工

### ○大正の頃

- 2・4 校名を口明方尋常高等小学校と改称

### ○昭和の頃

- 16・4 口明方尋常高等小学校を口明方国民学校と改称
- 21・9 本校舎・講堂等焼失
- 22・4 口明方国民学校より口明方小学校となる。
- 29・11 講堂・新校舎第一期工事六教室完成
- 31・8 新校舎第二期工事完成  
初納分校統合、スクールバスにて通学
- 39・5 有穂分校統合
- 48・10 開校 100 年記念祭
- 52・7 プール完成
- 57・6 文部省指定体力づくり推進校研究発表
- 57・9 全国保健体育優良校受賞
- 58・10 健康優良校県一位、全国表彰受賞
- 61・2 屋内運動場竣工

### ○平成の時代へ

- 元年 3・18 新校舎完成 竣工記念式典
- 4.10 八幡町研究指定校 研究発表会
- 6.4 県みどりの祭優良森林愛護少年団表彰
- 10.11 八幡町研究指定校 研究発表会
- 12.6 県交通少年団自転車安全大会  
団体の部 3 位、個人の部優勝
- 13.7 県交通少年団自転車安全大会 7 位入賞
- 16.3 学校版ミニ環境 ISO14001 認定される。
- 16.11 郡上市研究指定校 研究発表会
- 20.2 県人権同和教育協議会より  
「ひびきあい賞」受賞
- 20.3 県教育委員会教育長より  
岐阜県ふるさと教育「推進賞」
- 21.3 県人権同和教育協議会より  
「ひびきあい賞」受賞
- 21.7 県交通少年団自転車大会 団体 5 位入賞
- 21.8 教室床フローリング化
- 21.12 ユネスコ県文化賞受賞
- 22.7～8 トイレ改修工事
- 27.8 校名碑移設  
教室間仕切り 防音壁工事
- 28.12 岐阜新聞社より「岐阜県優秀校」受賞
- 29.1 岐阜県人権教育協議会より  
「ひびきあい賞」受賞
- 30.1 岐阜県人権教育協議会より  
「ひびきあい賞」受賞